

自己評価・外部評価 評価表 (あすならハイツ恋の窪)

2025 年度分

タイトル	項目番号	項目	施設評価				コメント	外部評価コメント
			できている	ほぼできてい	ることが多い	全くできてい		
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]								
(1) 理念の明確化								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	13	9			<ul style="list-style-type: none"> あすなら10の基本ケアできることは自身で行ってもらえるように声かけ・普段の会話を大切にしている 	特になし
(2) 適切な人材の育成								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	9	13			<ul style="list-style-type: none"> 全体会議にて周知 安全に業務を遂行すると同時に利用者に寄り添うケアをするように心がけている 	特になし
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターへの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	8	12	2		<ul style="list-style-type: none"> 本部で定期的に関催 外部研修の機会が増やしてほしい 研修を受ける具体的な声かけができていない 分からないことなど聞きやすい環境である 	特になし
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	6	13	2	1	<ul style="list-style-type: none"> シフト調整されている 職員個人の事情や能力に関係なく人員配置をされている 専門職としてのスキルを発揮したり成長できる場は少ないと感じる 	特になし
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	13	9			<ul style="list-style-type: none"> ケア会議をチームで開催 医療・看護軽視の話が一部見られる 日々時間を見つけケア会議を行っている 朝礼やケア会議等で情報共有できている 	特になし
(3) 適切な組織体制の構築								

自己評価・外部評価 評価表 (あすならハイツ恋の寢)

2025 年度分

タイトル	項目番号	項目	施設評価				外部評価コメント
			実施状況				
			できている	ほぼできていない	できていない	全くできていない	
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	8	11	3	<ul style="list-style-type: none"> 利用者さんの様子について日頃から情報共有できているので的確な人員配置ができていと思う 会議の有無を知らない 開催され意見が反映されるように努力している 会議で上がったことに対して業務の時に反映できていないこともある 未回答1名	特になし
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	8	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ホワイトボードやスラッグ等活用し共有を行っている 定期巡回内ではスムーズだが他部署の情報がいってこない ガルーソンの活用、朝礼での共有 	特になし
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	11	10	1	<ul style="list-style-type: none"> マニユアル確認や訓練を適宜行っている 対策をしていると思う 訓練や声かけをしている 対策について話し合いを実施できていない 把握できていない部分も多く緊急時の対応について学ぶ必要がある 	特になし
(5) 安全管理の徹底 職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	3	16	3	<ul style="list-style-type: none"> マニユアル確認や訓練を適宜行っている 対策をしていると思う 訓練や声かけをしている 対策について話し合いを実施できていない 把握できていない部分も多く緊急時の対応について学ぶ必要がある 	特になし

タイトル	項目番号	項目	施設評価				外部評価コメント
			実施状況		コメント		
			できている	ほぼできていない			
利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	10	12	<ul style="list-style-type: none"> 個人ファイルは鍵付き棚、車用携帯は持ち出さないようにされている 朝礼やスラッグ、口頭等で共有されている 	特になし	
II 過程評価 (Process)							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	9	12	1	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の状況に応じたケア会議を行いケアに反映している 生活リズムを把握するよう日々勤めている 合同でケア会議を実施している 介護、看護間で話し合うことができている 朝礼、ケア会議などで日頃から共有できている 心身機能に合わせたケア会議を行い計画作成している 利用者さんにとって無理のないケアにできている 	特になし
利用者等の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	11	11		<ul style="list-style-type: none"> 介護・看護の両面からのアセスメントが適切に行われている 	特になし
利用者等の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者等の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	11	10	1	<ul style="list-style-type: none"> 利用者等の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている 	特になし
利用者等の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の方の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	7	12	3	<ul style="list-style-type: none"> チームの意識の高さで実施できていると思う 医師、看護師と連携し予後、予測してケアをおこなっている 他の方はわからないが自分自身は先の疾病等のリスクまで考えることができている 	特になし
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し							

自己評価・外部評価 評価表 (あすならハイツ恋の寢)

2025 年度分

タイトル	項目番号	項目	施設評価				外部評価コメント	
			実施状況	実況	コメント	外部評価コメント		
			できている	ほぼできている	できていることが多い	全くできていない		
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービスの提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	14	8			<ul style="list-style-type: none"> ・連携を欠かさず随時訪問等行っている ・主任、サブリーダーの責任ある行動で対応できていると感じる ・利用者さんの状況に応じてケアの変更をおこなっている ・運営の方々が臨機応変してくださっている自分自身も気づいたことは共有できているように努めている 	特になし
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	9	13			<ul style="list-style-type: none"> ・日々職員間で情報共有されているため早期把握しやすい ・状況の把握は全職員が常に行っている ・ケア会議を通してADLの変化などについて共有できている 	特になし

タイトル	項目番号	項目	施設評価				外部評価コメント
			実施状況				
			できている	ほぼできていない	できていない	全くできていない	
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている	11	11		特になし	
看護職によるサービスの提供する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	10	12		特になし ・専門職がいるため機能維持、回復ができています ・相談しやすい環境である ・看護師は利用者さんファーストで対応できていると思う	
(4) 利用者等との情報及び意識の共有							
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	7	12	3	特になし ・必要以上にサービスを求められることがある ・契約時に説明されていると思う	
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	8	12	2	特になし ・サービスについて説明し合意を得ている	
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	9	12	1	特になし ・職員間で連絡を密にとり状況変化があれば報告している	
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント							
(1) 共同ケアマネジメントの実践							
利用者等の状況の変化について共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	4	16	2	特になし ・利用者の状態変化があれば連絡は欠かさず行えている ・内ケアマネでガルーンやMCSで情報交換できないことがある	
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	5	14	3	特になし	

自己評価・外部評価 評価表 (あすならハイツ志の建)

2025 年度分

タイトル	項目番号	項目	施設評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできてい	ことが多くない	全くできてい		
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	7	11	4		ケアマネによっては負担の頻度や重要度の位置づけが...	特になし
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献	25	利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	6	13	2		未回答1名	特になし
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	9	10	1		・情報共有、カンファレンスの参加等に勤めている 未回答2名	特になし
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)	9	9	2		・検討する機会を作ることが出来ていない 未回答2名	特になし
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	5	17				特になし

自己評価・外部評価 評価表 (あすならハイツ恋の窪)

2025 年度分

タイトル	項目番号	項目	施設評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできてい	できていない	全くできてい		
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	5	14	3	・年2回地域の方に向けた学習会の開催をしている ・地域に向けた発信が少 ない	特になし	
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画								
	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	4	14	4		特になし	
	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	9	11	2	・ほっとかない、断らないをモットーに可能な限り受け ている 未回答2名	特になし	
	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービス の開発・活用等)が行われている(※任意 評価項目)	3	15	2		特になし	
Ⅲ 結果評価 (Outcome)								
	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画 目標の達成が図られている	6	16		・達成できなかったものも 職員間で共有して次に活 かす	特になし	
	34	在宅生活の継続に対する安心感 在宅生活の継続に対する安心感が得られて いる	6	16		リスクを取り除きサポート に入らせてもらうことで在 宅生活の継続に繋がって いる	特になし	

